

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	貸与被服費										担当課	部課名	総務部職員課			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	細目	004	説明	02	課等の長	福室 祐子	電話	2264

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 35 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	労働安全衛生法における事業者等の責務として定められた労働者の快適な作業環境の実現及び労働者の作業行動から生ずる労働災害を防止するための必要な措置等を実行するため、藤沢市職員被服等貸与規則に基づき、関係職員に被服・靴等を貸与する。						
対象	1. 個人	市職員				3,684	人
根拠法令等	条例(市)		藤沢市職員被服等貸与規則				
事業実施内容	夏・冬に実施する一斉貸与(定期貸与)と、職員からの申請による貸与(随時貸与、新採用者への貸与を含む)を行った。 貸与品目数: 58品目 貸与品数: 5,069個(定期2,868個 交換2,201個) また、年度末に退職者等から回収した被服約250kg分のリサイクルを行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		需用費	21,737 千円	被服の購入
		役務費	54 千円	返却された被服のリサイクルのための手数料
	21,791 千円			
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
	21,791 千円	その他 ()		
		一般財源	21,791 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	28,326	27,253	27,456	26,556			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	26,624	27,269	27,582	26,610			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	21,850	22,446	22,748	21,791			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	4,774	4,823	4,834	4,819			
	職員数(常勤 非常勤)	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	4,520	4,551	4,610	4,584			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	254	272	224	235			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,702	-16	-126	-54			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	1,702	-16	-126	-54			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	67.34	420,619	64.11	425,105	64.22	427,501	61.86	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
			実績	-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由			本事業に要する費用は市職員の人事管理に要する経常的経費であり、成果を数値で表すことが困難であるため、指標名の設定ができない。										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)					-				-				-	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	納品待ち等の理由により，被服の貸与依頼があつてから，実際の貸与までに時間を要することがある。
(2) (1)解決のための今後の取組	当該被服を使用する職員と協議をしながら注文品(特注品)を既製品に変更するなど，納期の短縮を図る。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	職員の快適な作業環境を実現し，職員の作業行動から生ずる労働災害の防止に寄与した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	貸与被服等の見直しを随時行いながら，引き続き職員の快適な作業環境の実現及び職員の作業行動から生ずる労働災害の未然防止に努める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
27	被服等の貸与に関すること	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	総務部	氏名	林 宏和	確認日	2019/8/13
----	-----	----	------	-----	-----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	公務災害補償費										担当課	部課名	総務部職員課			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	細目	006	説明	01	課等の長	福室 祐子	電話	2254

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 42 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	本市議会の議員その他非常勤等の職員の公務災害補償等に関する条例に基づく非常勤職員の公務上あるいは通勤途上の災害の補償に要する経費。						
対象	1. 個人	本市議会の議員その他労働者災害補償法及び地方公務員災害補償法適用外の非常勤職員等			約	1,600	人
根拠法令等	法律等	地方公務員災害補償法					
事業実施内容	条例に基づき、藤沢市公務災害等補償委員会を設置し、公務災害、通勤災害の認定後に、療養補償及び休業補償を支給した。 対象者：1名						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		災害補償費	272 千円	療養補償, 休業補償
		272 千円		
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		272 千円		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
県支出金				
その他 ()				
一般財源	272 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.10
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.10

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	7,305	3,458	662	1,225			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	6,284	3,468	1,361	1,236			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	3,420	575	394	272			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	2,864	2,893	967	964			
	職員数(常勤 非常勤)	0.30 0.00	0.30 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	2,712	2,730	922	917			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	152	163	45	47			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,021	-10	-699	-11			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	1,021	-10	-699	-11			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	17.37	420,619	8.13	425,105	1.55	427,501	2.85	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
	実績		実績	-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	本事業は、市職員の衛生管理に要する経費であり、成果を数値で表すことが困難なため、指標名の設定ができない。												
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			-			-			-			-	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	平成30年度末時点の課題	特になし
(2)	(1)解決のための今後の取組	

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	臨時職員の公務上の災害に対し，療養補償及び休業補償を支給することにより，適切な補償が行えた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	発生件数は少ないことが理想だが，公務災害等はほぼ毎年発生している。このため，未然防止のための周知等を行う。また，引き続き非常勤等の職員の公務上，通勤途上の災害に対し，適切に療養補償及び休業補償を支給していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
42	非常勤等職員の公務災害補償に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	総務部	氏名	林 宏和	確認日	2019/8/13
----	-----	----	------	-----	-----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	公務災害見舞金										担当課	部課名	総務部職員課			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	細目	006	説明	02	課等の長	福室 祐子	電話	2254

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 51 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	藤沢市職員公務災害見舞金支給要綱に基づき、職員等が公務あるいは通勤途上の災害により死亡または後遺症(障がい)が残った場合に支給する見舞金。						
対象	1. 個人	藤沢市職員公務災害見舞金支給要綱に規定の職員			約	5,600	人
根拠法令等	その他(要綱等)	藤沢市職員公務災害見舞金支給要綱					
事業実施内容	職員等が公務あるいは通勤途上の災害により死亡または後遺症(障がい)が残った場合に見舞金を支給する。 ※平成30年度支給件数 0件						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	■ 直接実施						
	<input type="checkbox"/>	委託・指定管理	(:)		
	<input type="checkbox"/>	補助金・負担金	(:)		
	<input type="checkbox"/>	その他	(:)		

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳													
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容											
		交付金	0千円												
		0千円													
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳			3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.30</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.30</td> </tr> </table>		平成30年度	正規職員等	0.30	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.30
			平成30年度												
		正規職員等	0.30												
		再任用短時・任期付短時職員	0.00												
		非常勤職員	0.00												
		合計	0.30												
		費目	支出済額(千円)												
分担金・負担金															
使用料・手数料															
0千円															
国庫支出金															
県支出金															
その他()															
一般財源	0千円														

	平成30年度
正規職員等	0.30
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.30

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	3,335	961	5,539	2,859
	(1)現金を伴う支出 (千円)	2,995	964	4,940	2,891
	事業費(支出済額-②報酬合計)	2,040	0	2,040	0
	償還金利子	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	955	964	2,900	2,891
	職員数(常勤 非常勤)	0.10 0.00	0.10 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	904	910	2,766	2,750
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	51	54	134	141
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	340	-3	599	-32
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	340	-3	599	-32
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他()	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	7.93 420,619	2.26 425,105	12.96 427,501	6.66 429,317	

成果実績	指標名	-	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績	-	実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	本事業は、市職員の衛生管理に要する経費であり、成果を数値で表すことが困難なため、指標名の設定ができない。									
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	特になし
(2) (1)解決のための今後の取組	

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	職員等が公務あるいは通勤途上において被災し，死亡または後遺症（障がい）が残った場合は，要綱に基づいて公務災害見舞金を支給するものだが，平成30年度については支給対象者はなかった。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	引き続き，職員等が公務あるいは通勤途上の災害により死亡または後遺症（障がい）が残った場合には，要綱に基づき，職員の生活安定のため，公務災害見舞金の支給をする。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
41	一般職員の公務災害補償に関すること	無	無	1	
42	非常勤等職員の公務災害補償に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	総務部	氏名	林 宏和	確認日	2019/8/13
----	-----	----	------	-----	-----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	児童手当								担当課	部課名	総務部職員課					
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	細目	009	説明	01	課等の長	福室 祐子	電話	2264

1. 事業概要

事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	児童を養育する職員の家庭における生活の安定と、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上を目的とし、児童手当を支給する。						
対象	1. 個人	児童手当の支給要件に該当する市職員				3,153	人
根拠法令等	法律等	児童手当法及び児童手当法施行規則					
事業実施内容	①〔3歳以上小学校修了前までの第1子・2子〕及び〔中学生〕月額10,000円 ②〔3歳未満〕及び〔3歳以上小学校修了前までの第3子以降〕月額15,000円 ③〔所得制限額以上であるもの〕月額5,000円 を支給要件児童一人につき支給した。 受給職員数 平成30年6月支給 1,024人、平成30年10月支給 1,035人 平成31年2月支給 1,047人 平成31年5月支給 47人						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費 目	支出済額 (千円)	主な事業内容
	226,815	児童手当	226,815 千円	児童手当支給
	千円			
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費 目	支出済額 (千円)	
	226,815	分担金・負担金		
	千円	使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
	その他 ()			
	一般財源	226,815 千円		

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.30
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.30

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト	行政費用	A	229,465	229,504	231,435	229,674		
	(1)現金を伴う支出 (千円)	228,444	229,514	231,510	229,706			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	225,580	226,620	228,610	226,815			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	2,864	2,894	2,900	2,891			
	職員数(常勤 非常勤)	0.30 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	2,712	2,730	2,766	2,750			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	152	163	134	141			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,021	-10	-75	-32			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	1,021	-10	-75	-32			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	545.54	420,619	539.88	425,105	541.37	427,501	534.98	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		本事業に要する費用は市職員の人事管理に要する経常的経費であり、成果を数値で表すことが困難なため、指標名の設定ができない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	特になし
(2) (1)解決のための今後の取組	

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	支給要件児童の保護者である職員に対して児童手当を支給したことで、職員の家庭における生活の安定と、次代の社会をになう児童の健全な育成及び資質の向上に寄与した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	引き続き、支給要件児童の保護者である職員に対して児童手当を支給し、職員の家庭における生活の安定と、次代の社会をになう児童の健全な育成及び資質の向上に寄与する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
24	④児童手当支給業務に関すること	無	有		1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	総務部	氏名	林 宏和	確認日	2019/8/13
----	-----	----	------	-----	-----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	職員採用関係費										担当課	部課名	総務部職員課			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	02	細目	001	説明	01	課等の長	福室 祐子	電話	2264

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務									
事業概要	優秀な人材を求めるために、広く一般に採用情報を周知し、職員採用試験を実施する。															
対象	1. 個人 採用試験応募者										1,393 人					
根拠法令等	法律等 地方公務員法															
事業実施内容	採用情報を広く周知するため、就職情報サイトに情報を掲載したり、採用説明会を実施するなどの周知活動を行った。 また、次のとおり競争試験を実施した。 (行1) 一次試験～三次又は四次試験：教養試験、適性試験、性格検査、集団討論、面接など (行2) 一次試験～三次試験：教養試験、適性試験、性格検査、体力測定、面接など															
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先：株式会社日本経営協会総合研究所) (委託等内容：採用試験問題作成等業務委託) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 () <input type="checkbox"/> その他 ()															

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 4,316 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		報償費	30 千円	採用説明会手話通訳・要約筆記者謝礼
		役員費	43 千円	就職情報サイト掲載料及び広告掲載料
		委託料	3,715 千円	職員採用試験問題作成等業務委託料
		使用料	311 千円	採用試験会場使用料など
		その他	217 千円	旅費、需用費
財源内訳	H30年度 支出済額 4,316 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他()		
一般財源	4,316 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	3.60
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	3.60

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	55,992	37,482	38,074	38,618			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	42,718	38,619	38,979	39,006			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	5,484	3,895	4,180	4,316			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	37,234	34,724	34,799	34,690			
	職員数(常勤 非常勤)	3.90 0.00	3.60 0.00	3.60 0.00	3.60 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	35,256	32,764	33,188	33,001			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	1,978	1,960	1,611	1,689			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	13,274	-1,137	-905	-388			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	13,274	-1,137	-905	-388			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	133.12	420,619	88.17	425,105	89.06	427,501	89.95	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
			実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		本事業に要する費用は職員の定員管理と連動する経常的な経費であり、成果を数値で表すことが困難なため、指標名の設定ができない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	技術職や資格職（保育士・保健師など）の採用試験受験者数が少なく，採用が困難な状況が続いている。
(2) (1)解決のための今後の取組	採用説明会等において採用が困難な職種の職員が業務内容の魅力を直接伝える機会を設けるなどの取組を実施する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	筆記試験のほかに面接試験や集団討論などの選考方法を実施することで，様々な角度から評価を行い，優秀な人材を採用することができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	今後も広く広報活動を実施することで，受験生の確保に努める。また，様々な選考方法を実施し，優秀な人材を採用する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
19	職員の採用試験に関すること	有	有	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	総務部	氏名	林 宏和	確認日	2019/8/13
----	-----	----	------	-----	-----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	衛生管理費										担当課	部課名	総務部職員課			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	02	細目	001	説明	02	課等の長	福室 祐子	電話	2254

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務									
事業概要	労働安全衛生法及び藤沢市職員安全衛生管理規定に基づく職員等の健康管理に要する経費。															
対象	4. その他	市職員（勤務形態を問わず市に従事する職員）										約	5,200	人		
根拠法令等	法律等	労働安全衛生法														
事業実施内容	健康診断・保健指導・健康相談・健康教育等職員の安全衛生管理事業															
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施															
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 藤沢市保健医療財団他)															
	(委託等内容: 健康診断等)															
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金: 藤沢市民病院, 神奈川労務安全衛生協会他)															
<input type="checkbox"/> その他 ()																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 65,537 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	55,279 千円	職員定期・特殊健康診断等業務委託料
		報酬	8,621 千円	産業医等非常勤職員報酬
		負担金	1,009 千円	委託負担金, 研修参加負担金他
		旅費	127 千円	研修参加旅費, 専属産業医交通費
その他			501 千円	報償費, 需用費, 役務費
財源内訳	H30年度 支出済額 65,537 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源			65,537 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	1.60
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	1.00
合計	2.60

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	75,913	75,428	81,521	80,783			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	72,509	75,461	79,900	80,955			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	59,445	62,079	57,234	58,337			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	13,064	13,382	22,666	22,618			
	職員数(常勤 非常勤)	2.00 0.00	2.00 0.00	1.60 1.00	1.60 1.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	12,557	12,838	14,750	14,667			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	7,200	7,200			
	③退職金相当額	507	544	716	751			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	3,404	-33	1,621	-172			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	3,404	-33	1,621	-172			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	180.48	420,619	177.43	425,105	190.69	427,501	188.17	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績			-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	本事業は、市職員の衛生管理に要する経費であり、成果を数値で表すことが困難なため、指標名の設定ができない。									
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	長期休業者に対するより細やかなサポート体制の構築。
(2) (1)解決のための今後の取組	休職する職員が減少するように，健康相談や復職支援を充実させる。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	職員の安全と健康を確保するとともに快適な職場環境の形成を図ることができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	各種健康診断を実施するとともに，職員が心身ともに健康に働ける環境づくり，安全な職場づくりの推進と健康増進の支援を行っていく。また，ストレスチェックなどを活用し，精神，神経系疾患での休職者が減少するよう，健康相談や復職の支援等を充実させる。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
36	健康診断に関すること	有	無		3
37	職員メンタルヘルス調査事業	有	有		3
38	安全衛生審議会に関すること	無	無		3
39	安全衛生研修会の企画・実施	無	無	1	
43	障害者雇用状況の管理	無	無		3
44	産業医職場巡視に関すること	無	無		3
45	健康相談に関すること	無	無		3
46	療養者支援に関すること	無	無		3
47	ハラスメント苦情相談・啓発に関すること	無	無		3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	総務部	氏名	林 宏和	確認日	2019/8/13
----	-----	----	------	-----	-----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	労務管理費								担当課	部課名	総務部職員課					
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	02	細目	001	説明	03	課等の長	福室 祐子	電話	2264

1. 事業概要

事業開始年度	不明 年度		終了(予定)年度	未定 年度		事業の性質	義務的自治事務					
事業概要	適正な労務管理をするための経費及び一般事務費											
対象	1. 個人	市職員									3,684	人
根拠法令等	条例(市)		藤沢市一般職員の給与に関する条例等									
事業実施内容	1 給与支払い事務 2 共済組合に関する事務 3 人事給与システムによる人事給与情報の管理 (システムリース料, OA機器に係る消耗品等)											
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施											
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:)											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:)											
	<input type="checkbox"/> その他 ()											

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳			
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容	
		賃金	1,920 千円	臨時職員1名(年末調整事務), パート1名	
		需用費	1,205 千円	消耗品, 給与明細等	
		委託料	5,491 千円	人事給与システム改修(確定拠出年金)	
		使用料及び賃借料	49,377 千円	複写機, システム賃貸借等	
	58,032 千円	39 千円	旅費		
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳			
		費目	支出済額 (千円)		
		分担金・負担金			
		使用料・手数料			
		国庫支出金			
		県支出金			
	58,032 千円	()			
		58,032 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	7.10
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	7.10

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
コスト支出	行政費用 A	132,766	108,123	98,746	125,684
	(1)現金を伴う支出 (千円)	108,600	108,353	100,530	126,449
	事業費(支出済額-②報酬合計)	40,815	39,870	31,897	58,032
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	67,785	68,483	68,633	68,417
	職員数(常勤 非常勤)	7.10 0.00	7.10 0.00	7.10 0.00	7.10 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	64,184	64,617	65,455	65,086
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	3,601	3,866	3,178	3,331
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	24,166	-230	-1,784	-765
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	24,166	-230	-1,784	-765
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他()	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		315.64 420,619	254.34 425,105	230.98 427,501	292.75 429,317

成果実績	指標名	-	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績	-	実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		本事業に要する費用は市職員の人事管理に要する経常的経費であり、成果を数値で表すことが困難なため、指標名の設定ができない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	特になし
(2) (1)解決のための今後の取組	

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	人事給与システム等を活用した職員の労務管理を適切に行った。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	引き続き，適切な職員の労務管理を行っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
12	職員の給与等勤務条件に係る調査業務	無	無		1
13	職員の給与等勤務条件に係る企画業務	無	無		3
20	特別職報酬審議会業務	無	無		3
21	月例給与支給業務に関すること	無	無	1	3
22	期末勤勉手当支給業務に関すること	無	無	1	3
23	退職手当支給業務に関すること	無	無		3
26	年末調整業務に関すること	無	無		1
48	職員団体折衝業務	無	無		3
49	市町村職員共済組合関連業務	無	無		3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	総務部	氏名	林 宏和	確認日	2019/8/13
----	-----	----	------	-----	-----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	人事管理等関係費										担当課	部課名	総務部職員課			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	02	細目	001	説明	04	課等の長	福室 祐子	電話	2264

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務									
事業概要	職員の任免, 服務等人事管理全般に要する経費															
対象	1. 個人	市職員 (勤務形態を問わず市に従事する職員)										約	5,200	人		
根拠法令等	法律等	地方公務員法, 藤沢市職員服務規程等														
事業実施内容	人事給与システム等の活用による職員の任免服務等, 及び臨時職員等の社会保険事務															
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施															
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: アズビル株式会社)															
	(委託等内容: 身分証明書作成等業務委託)															
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ()															
<input type="checkbox"/> その他 ()																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 5,103 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	798 千円	身分証明書作成等業務委託
		報酬	2,280 千円	社会保険適用業務専門員・綱紀審査委員会委員報酬
		使用料及び賃借料	1,037 千円	被災地派遣職員用賃借料
		旅費	483 千円	非常勤職員通勤費他
		その他	505 千円	需用費・役務費
財源内訳	H30年度 支出済額 5,103 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
		一般財源	5,103 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	3.40
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	1.00
合計	4.40

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	58,253	35,454	37,653	37,500			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	44,298	37,947	38,507	37,866			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	2,950	2,949	3,436	2,899			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	41,348	34,998	35,071	34,967			
	職員数(常勤 非常勤)	4.10 1.00	3.40 1.00	3.40 1.00	3.40 1.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	37,064	30,943	31,345	31,168			
	②報酬合計(非常勤)	2,204	2,204	2,204	2,204			
	③退職金相当額	2,080	1,851	1,522	1,595			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	13,955	-2,493	-854	-366			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	13,955	-2,493	-854	-366			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	138.49	420,619	83.40	425,105	88.08	427,501	87.35	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由			本事業に要する費用は市職員の人事管理に要する経常的経費であり、成果を数値で表すことが困難なため、指標名の設定ができない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			-		-		-		-		-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	本庁舎の供用開始に伴い、これまで作成していた磁気カードの身分証明書を、入退庁管理や複合機利用のためICカード化し、作成業務委託料の額が増えている。
(2) (1)解決のための今後の取組	本庁舎の供用開始から1年が経過し、身分証明書の破損等が見受けられるようになってきたため、本来であれば必要のない再発行を可能な限り減らすよう職員へ周知することを検討したい。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	人事給与システム等を活用した職員の任免や服務管理を適切に行った。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	引き続き、適切な職員の任免や服務管理を行っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
6	藤沢市職員綱紀審査委員会に関すること	無	無		
7	営利企業従事等に関すること	無	無		
8	履歴変更に関すること	有	有		3
9	職員の休暇等に関すること	無	無		3
14	職員の人事異動に関すること	無	有		3
15	FA・専任職制度に関すること	無	無		3
16	職員の人事評価に関すること	無	有		
17	職員の昇給・昇格に関すること	有	有		3
18	職員の期末・勤勉手当に関すること	有	有		3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	総務部	氏名	林 宏和	確認日	2019/8/13
----	-----	----	------	-----	-----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	職員福利厚生費								担当課	部課名	総務部職員課					
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	02	細目	002	説明	01	課等の長	福室 祐子	電話	2266

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 25 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	地方公務員法第42条に基づき、職員の福利厚生の実をを図ることで職員及び家族の生活の向上と安心して公務に専念できる環境を整える。						
対象	4. その他	藤沢市職員福利厚生会会員			3,942 人		
根拠法令等	法律等	地方公務員法					
事業実施内容	保健に関する事業 ・健康支援事業の実施（人間ドック等助成事業・メンタルヘルス支援事業・インフルエンザ予防接種助成事業） ・保養施設の借り上げ 元気回復に関する事業 ・文化事業の実施（機関誌発行事業・職員文化展・文化講座事業等） ・体育事業の実施（職員スポーツ大会等）						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理（委託先：藤沢市職員福利厚生会・有限会社藤沢福利厚生） （委託等内容：福利厚生会事業全般） <input type="checkbox"/> 補助金・負担金（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳				
		費目	支出済額（千円）			主な事業内容
		委託料	50,330 千円			福利厚生事業(人間ドック助成事業, 健康支援事業, 文化・体育事業)
50,330 千円						
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳				
		費目	支出済額（千円）			
		分担金・負担金				
		使用料・手数料				
		国庫支出金				
		県支出金				
		その他（ ）				
50,330 千円		50,330 千円				
3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)						
					平成30年度	
正規職員等					1.10	
再任用短時・任期付短時職員					0.00	
非常勤職員					0.00	
合計					1.10	
※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員						

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
コスト 支出	行政費用 A	70,818	67,146	59,640	56,858
	(1)現金を伴う支出 (千円)	67,074	67,182	63,036	56,869
	事業費(支出済額-②報酬合計)	56,572	56,572	56,000	50,330
	償還金利子	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	10,502	10,610	7,036	6,539
	職員数(常勤 非常勤)	1.10 0.00	1.10 0.00	1.10 0.00	1.10 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	9,944	10,011	6,991	6,492
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	558	599	45	47
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	3,744	-36	-3,396	-11
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	3,744	-36	-3,396	-11
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他()	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		168.37 420,619	157.95 425,105	139.51 427,501	132.44 429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
	実績			-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		職員の健康的な日常生活を支援し、事務執行の向上を図ることを目的としており、数値に表すことが困難なため、指標名の設定ができない。											
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	職員のニーズの多様化及び職員間のコミュニケーションの活性化
(2) (1)解決のための今後の取組	委託内容や委託先等について，見直しを進め業務のスリム化を図るなどの改善が望まれる。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	福利厚生事業を推進したことにより，健康維持や家族と楽しく過ごす時間が増えるなど，職員の健康的な日常生活を支援することで，職員及び家族の生活の向上等に寄与した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	引き続き福利厚生事業を推進し，職員の健康的な日常生活を支援していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
50	職員の福利厚生業務	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	総務部	氏名	林 宏和	確認日	2019/8/13
----	-----	----	------	-----	-----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	職員基本研修費										担当課	部課名	総務部職員課			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	03	細目	001	説明	01	課等の長	福室 祐子	電話	2257

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 45 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務
事業概要	地方公務員法第39条及び藤沢市職員研修規程に基づき定められた藤沢市人材育成基本方針に基づき、研修体系中の人材育成の土台となる基本研修・職場研修・自主研修を実施するもの。				
対象	4. その他	平成30年度基本・職場・自主研修受講者数	11,939 人		
根拠法令等	法律等	地方公務員法			
事業実施内容	新採用職員前期, 新採用職員後期, 一般職員一部(主に採用3年目職員), 一般職員二部(主に採用6年目職員), キャリアビジョン(主に採用8年目職員), 監督者一部(主査昇任者), 監督者二部(上級主査昇任者), 管理職一部(課長補佐級昇任者), 管理職二部(課長級昇任者), 管理職三部(参事級昇任者)などを実施した。				
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 資格取得支援負担金) <input type="checkbox"/> その他 ()				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 7,956 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		報償費	6,909 千円	基本研修講師謝礼
		旅費	628 千円	研修受講にかかる旅費
		需用費	209 千円	テキスト, 各種研修にかかる消耗品
		使用料および賃借料	33 千円	宿泊研修の会議室使用料
財源内訳	H30年度 支出済額 7,956 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	7,956 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	1.70
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.70

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	30,464	25,022	24,452	24,155			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	24,678	25,077	24,879	24,338			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	8,448	8,679	8,446	7,956			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	16,230	16,398	16,433	16,382			
	職員数(常勤 非常勤)	1.70 0.00	1.70 0.00	1.70 0.00	1.70 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	15,368	15,472	15,672	15,584			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	862	926	761	798			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	5,786	-55	-427	-183			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	5,786	-55	-427	-183			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	72.43	420,619	58.86	425,105	57.20	427,501	56.26	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
	実績			-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		本事業に要する費用は市職員の人材育成に要する経常的な経費であり、成果を数値化するのには困難であるため、指標名の設定ができない。											
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	職員のコミュニケーション能力の向上が求められている中で，その能力向上の機会が少なかった。
(2) (1)解決のための今後の取組	各課の行財政改革を推進する立場である管理職の意識変革を進めるとともに，職場や職種，年代を超えた交流を通じ，職員間の相互理解を深め，職場のコミュニケーションの活性化を促進することを目的とした合同研修を継続する。また，階層別研修においてコミュニケーション系研修を実施する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	藤沢市人材育成基本方針に基づき効果的な人材育成を進めていくためには，職員，職場，研修部門，人事部門がそれぞれの役割を果たす必要がある。その中で階層別研修は自分自身の現状能力を他の職員との比較で感じることができるとなっており，職員個々の意識を向上させることに繋がった。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	近い将来に迎える人口減少社会においては職員一人一人の資質を向上させることが必須であり，そのためにも職員研修は今後，さらに重要となると考えられる。研修効果に即効性はないため，これまで培ってきた過去の研修実績を踏まえ，今後直面する社会情勢に必要とされる能力・意識・行動をより体系的に身に付けるための研修を企画・実施していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
31	基本研修業務	有	有	1	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	総務部	氏名	林 宏和	確認日	2019/8/13
----	-----	----	------	-----	-----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	職員専門研修費										担当課	部課名	総務部職員課			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	03	細目	001	説明	02	課等の長	福室 祐子	電話	2257

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 45 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	地方公務員法第39条及び藤沢市職員研修規程に基づき定められた藤沢市人材育成基本方針に基づき、専門研修・派遣研修を実施するもの。						
対象	1. 個人	平成30年度専門・派遣研修受講者数				1,223 人	
根拠法令等	法律等	地方公務員法					
事業実施内容	研修専門機関主催研修への派遣及び職員の専門知識・技術向上を目的とした研修を実施した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 5,558 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報償費	1,125 千円	専門研修講師謝礼
		旅費	1,688 千円	研修受講にかかる旅費
		需用費	193 千円	テキスト、各種研修にかかる消耗品
		負担金補助及び交付金	2,552 千円	研修参加負担金
財源内訳	H30年度 支出済額 5,558 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (研修受講助成金)	600 千円			
一般財源	4,958 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	1.30
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.30

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	23,530	18,694	18,292	17,945			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	19,105	18,736	18,619	18,085			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	6,694	6,197	6,052	5,558			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	12,411	12,539	12,567	12,527			
	職員数(常勤 非常勤)	1.30 0.00	1.30 0.00	1.30 0.00	1.30 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	11,752	11,831	11,985	11,917			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	659	708	582	610			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	4,425	-42	-327	-140			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	4,425	-42	-327	-140			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	55.94	420,619	43.98	425,105	42.79	427,501	41.80	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
	実績			-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		本事業に要する費用は市職員の人材育成に要する経常的な経費であり、成果を数値化するのには困難であるため、指標名の設定ができない。											
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	民間企業の企業理念や顧客サービス等を学ぶ機会が不足している。
(2) (1)解決のための今後の取組	企業派遣研修の充実により外部の取組を学ぶことで，マルチパートナーシップの推進を図るためのスキルや知識を習得するなど，自分自身の仕事への取組を見直す機会を増やす。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	担当する業務の遂行に必要とされる特定の専門的な知識やスキルを習得するために，各種専門研修を実施した。また，職員の成長段階や業務の習熟度を考慮したうえで，適切な機会を捉え研修専門機関主催研修への派遣を行い，専門的な知識やスキルの習得に繋がった。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	各職場からの研修ニーズの把握に努め，専門性の高い実践的な研修カリキュラムを計画する。また，派遣研修の積極的な受講案内や参加しやすい環境の整備をすることで，個々の専門的知識や技術を高めるとともに，他の自治体職員との交流を通して刺激を受けることにより，幅広く客観的な視点を醸成していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
32	専門研修業務	有	有	1	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	総務部	氏名	林 宏和	確認日	2019/8/13
----	-----	----	------	-----	-----------